

当地在留邦人を被害者とする強盗事件の発生

1月8日（木）午後5時45分頃、サンサルバドル市サルバドル・デル・ムンド碑近くのガソリンスタンド（TEXACO）前の路上において、車両運転中の在留邦人に対する強盗事件が発生しました。概要は以下の通りですので、類似の犯罪に巻き込まれないよう十分ご注意ください。

1 事件概要

- （1）上記日時場所において、被害者（邦人男性）が車両を運転していたところ、交通渋滞に巻き込まれました。渋滞で停車中、被害者は、右前方の車両がけん銃を所持した男性に襲われているのを見ました。その瞬間、別の男性が突然表れ、けん銃様のものを示しながら、被害者車両運転手側の窓を強く叩き、窓を開けるよう指示しました。
- （2）被害者が仕方なく窓を開けたところ、男性は何事かを言いましたが、被害者には「早くしろ」しか聞き取れませんでした。
- （3）男性の様子から携帯電話がほしいのだろうと考えた被害者は、携帯電話1台を手渡すと、男性はその場から遠ざかり、右前方の車両で強盗を敢行していた男性と合流した後、その場からいずれかに逃走しました。

2 事件発生場所

